

スーパーウォール工法は「長期優良住宅」の普及を応援いたします。

世代を超えて循環利用される「社会的資産」としての住宅を目指す『長期優良住宅』の普及は、「ゆとり」のある社会生活を実現し、また環境負荷の削減に寄与します。
スーパーウォール工法は、確かな基本性能と快適性・高い耐久性で「長期優良住宅」にもしっかり対応いたします。

「長期優良住宅」とは？

これまでの日本の住まいは寿命が短く、せっかく家を建てても老後を迎える頃には、土地の価値はあっても「建物の価値」はなくなってしまうことがほとんどでした。古くなった家の多くは建替えを繰り返していました。

これに対し、長寿的な住まいを実現すれば、資源を節約し、CO2の削減にもつながります。また、家そのものを価値あるものとして売ることもでき、その資金で豊かな老後を楽しめたり、若い世代は新しく建てるよりリーズナブルな価格で、買ったり借りたりすることが出来るようになります。

つまりライフスタイルによって、住まい方の選択肢が広がるわけです。これが長期優良住宅という考え方です。



「よい住宅をつくり、きちんと手入れをし、長く大切に使う」

フロー型社会

少子高齢化・福祉負担増大
地球環境問題



「つくっては壊す」に行き詰まり

ロングライフ化
技術の蓄積

土地神話の崩壊から
住宅資産
価値の見直し

ストック型社会

・住居費負担の軽減
・資産価値の確保
・環境負荷の軽減



「長期優良住宅」の認定基準（戸建て住宅）

省

エネルギー対策等級

4

断熱性能等の省エネルギー性能が確保されていること
省エネ法に規定する省エネルギー基準（次世代省エネルギー基準）に適合すること

劣

化対策（耐久性）等級

3

数世代にわたり住宅の構造躯体が使用できること
床下及び小屋裏の点検工を設置すること。点検のため、床下空間の一定の高さを確保すること

耐

震等級（倒壊等防止）

2 以上

極めて稀に発生する地震に対し、継続利用のための改修の容易化を図るため、損傷のレベルの低減を図ること
建築基準法レベルの1.25倍の地震力に対して倒壊しないこと

維

持管理対策等級

3

構造躯体に比べて耐用年数が短い内装・設備について維持管理（清掃・点検・補修・更新）を容易に行なうために必要な措置が講じられていること
構造躯体に影響を与えないこと、配管の維持管理を行なうことができること、更新時の工事が軽減される措置が講じられていること。

住 戸面積

良好な居住水準を確保するために必要な規模を有すること

居 住環境

良好な景観の形成その他の地域における居住環境の維持及び向上に配慮されたものであること

維 持保全の方法

建築時から将来を見据えて、定期的な点検等に関する計画が策定されていること

住宅品質確保促進法に基づく住宅性能表示制度における等級項目

スーパーウォール工法なら・・・

省エネルギー対策 SW住宅型式性能認定図書が利用できます。

劣化対策 SW住宅型式認定図書 + 簡易な対策 で対応可能です。

耐震性 パネル工法によるモノコック構造で高耐震性能を発揮します。



スーパーウォール工法



スーパーウォールの家は「長期優良住宅」に相応しい、性能と快適な生活空間を実現いたします。

「長期優良住宅」の各種優遇・メリット

住宅ローン減税の優遇

長期優良住宅のローン減税として最大控除額600万円まで可能。

投資型減税

ローンを使わない人を対象に、長期優良住宅にするための性能強化費の10%を所得税から控除

固定資産税の減税措置

一般住宅特例 3年間 1/2 減額
長期優良住宅特例 5年間 1/2 減額

「フラット35S」

「フラット35S」の借入金利が優遇される。
20年優遇タイプ(0.3%優遇)にも適用。

ライフサイクルコストの軽減

省エネ性能が高く、また住宅寿命も長いので、住まいの生涯コスト(ライフサイクルコスト)が大幅に軽減されます。

選 択 性